

日本基督教団 八ヶ岳伝道所 受難節第二週 主日礼拝 NO.1161 2021年2月28日

牧師 山本護 奏楽 山本恵美 第一部礼拝 司式 青柳均 9:30~10:30
 ※讃美は二番まで歌います 第二部礼拝 司式 福田奈里子 11:00~12:00

前	奏	黙想	讃美歌	285	主よ、み手もて
讃美歌	24	父のかみよ、夜は去りて	献金		
祈禱			讃詠	547	いまささぐるそなえものを
聖書		申命記 16:1~3	黙禱		
		ルカによる福音書 22:1~6	主の祈り	564	
讃美歌	312	いつくしみ深き	頌栄	540	みめぐみあふるる
説教		『無力と自由とユダのこと』	祝禱		
祈禱			後奏		※信仰告白は当面省略します。

イエスは過越祭の夜に捕えられ(ルカ 22:54)、翌日に十字架で処刑された(23:46)。「さて、過越祭と言われている除酵祭が近づいていた(22:1)」。イスラエルの民にとって過越祭とはどんな祭りなのか。

遠い昔、主は己が民をエジプトから脱出させた。その出来事を思い起こすための過越祭(申命 16:1)。過越祭では「羊か牛をいけにえとして主に屠り(16:2)」、「七日間、酵母を入れない苦しみのパンを食べる(16:3)」。祭りで解放された喜びを体験するわけだが、一方で自由とは「苦しみのパン」を食べる事でもある。苦しみのパンには「苦菜を添えて食べる(出エジプト 12:8)」。実に印象的だ。過越祭は、熱狂や興奮ではなく、自ら決断し責任を負うという、神との約束による独立心を育む祭りなのだ。

こんな過越祭の折に「祭司長たちや律法学者たちは、イエスを殺すにはどうしたらよいかと考えていた(ルカ 22:2)」。祭司長は親ローマで、律法学者は反ローマ。そもそも対立する勢力なのだが、イエス殺害で一致した。権力も反権力も、力の対立に他ならない。政治ばかりでなく市民運動にも教会組織にも「なんとか派」はあるが、イエスのまなざしは、そうした「量的」なものにまったくそぐわない。

二つの勢力、つまり体制派の祭司長、反体制派の律法学者は「民衆を恐れていた(22:2)」。民衆とは第三の勢力なのだろうか。否、彼らが恐れる民衆は人間の群ではない。イエスによって現わされた神の愛と命に響き合う、無力な一人ひとりだ。想像するに民衆の中には、安定した秩序を願う商人や徴税人もいれば、体制変革を期待する民族独立派もいた。またそんなことに関心を持たず、黙々と耕し牧畜する者もいただろう。だが民衆は、あらゆる世の力よりも、イエスが現わす愛と命を信頼した。

祭司長や律法学者らは、世の量的な力を頼みとしているが、本来的には「神に従う」つもりでいる。だから神に従う民衆の無力を恐れた(22:2)。それゆえ、神に従う無力を教えるイエスを恐れ、嫉妬し、憎悪した。私たちは一人の民衆として、世的には無力な、神からの愛と命を最優先に受け入れたい。

民衆を気にしながら「どうやってイエスを殺そうかと考えている(22:2)」とチャンス到来。「イスカリオテと呼ばれるユダの中に、サタンが入った(22:3)」。ユダは神殿の体制派にイエスを引き渡す相談をもちかけた(22:4)。ユダはサタンに憑依されたのか。だとすればユダに責任があるのだろうか。

ユダは、裁かれるのか、赦されるのか。さまざまに論じられて来たし、私自身も教会内外の人から幾度となく尋ねられた。体がバラバラになったことは(使徒 1:18)救われない徴ではないか、十字架上のイエスの祈りはあらゆる罪の赦し(ルカ 23:34)ではないのか。どちらにも否と然りを言う。

イエスから「それでは君はどう思うのかね(マルコ 8:29)」と問われたなら、私は恐れおののく。牧師たちは「残念だが救われない」と言い、また「十字架ですべてが救われる」と言うが、きっぱり聞かされるほど不安になる。ユダという問いは「苦しみのパン(申命 16:3)」の味わい。サタンは人間を操縦するのではなく、人間の主体性をくすぐって罪を犯させる。ユダの自由と責任は失われていない。究極的には神の御旨に隠されている。ただイエスの「命」は、ユダにも与えられていた(ヨハネ 13:26)。

どこまでが私でどこからが彼らなのか 境目が滲んでいてもキリスト者は決断し責任を負う サタンとの境目も凝視すると焦点は結ばない 信ずるとは 分らぬ事を分らぬまま持ち続ける柔らかさ
 今は受難節で今年の4/4が復活祭です。4/11に総会を開きます。伝道所を教会にするための重要な総会ですので会員は予定しててください。牧師の動き:3/3、YMCAで聖書の話。3/4 刑務所で教誨。

礼拝堂・集会所の住所：408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪 2265-3

連絡・問い合わせは牧師へ：408-0205 北杜市明野町浅尾新田 1324 TEL 0551-25-4008

メール komechan.olive@orange.zero.jp HPは「日本基督教団八ヶ岳伝道所」で検索して下さい。